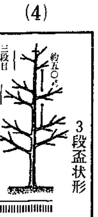
家庭園芸
果樹の整枝・せん定(ビワ)



3段盃状形

亜熱帯から温帯南部の原産で、常緑大樹になります。また、開花期が冬のため、寒さによって結果が安定しません。新潟が北限の果樹ですから耐寒性の強い品種「田中」をお奨めします。

骨組は二~三段の盃状形で、地上六〇㌢くらいの幹から横向き、方向のよい枝を三~四本伸ばして一段目の主枝グループとします。この上部に一段目と重ならないように、二段目の主枝グループを作ります。一段目と二段目の間隔は五〇㌢くらいあけます。三段目の主枝グループは二段目に準じて芯は抜きます。これらの主枝に間隔があくように、側枝、結果枝を配置します。

芽かき　摘果の時と収穫後の六月中旬~下旬に新芽の枝数を少なくして花芽の分化や、果実の肥大を促します。

せん定　新芽の出る直前、八月中旬~九月上旬、十月下旬~十一月の三回に分けて、五~六年以上の古い結果枝、側枝を切って新しい枝を出させます。また、密生枝は間引きをし、徒長枝、たれ枝も切ります。

(園芸センター・)

市民登場
蒔絵師として58年
新潟漆器の伝統を受け継ぐ　高橋英一さん(74歳、田中町)

輪島塗(ぬり)や会津塗、京漆器などの漆器は、日本が世界に誇る代表的な伝統工芸だ。わが新潟市にも長い歴史を誇る「新潟漆器」がある。

高橋英一さん(七四)は、漆器の表面に金粉や銀粉などで絵模様をつける蒔(まき)絵師として、この道五十八年の経験を持つ。東京で修得した技法を新潟に普及させ、その高い技術をもって業界の地位発展に力を注いだとして、昨年、市の技能功労者表彰を受けている。得意とする研ぎ出し蒔絵の作風は、穏やかな中にも気品を漂わせ、高い評価を受けている。

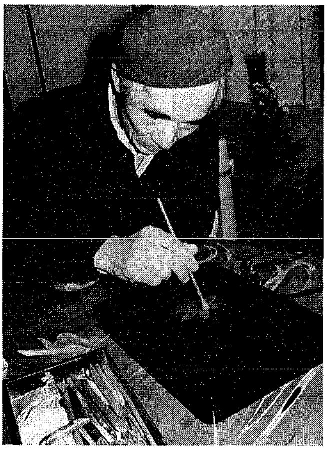
高橋さんの家は祖父の時代からの蒔絵師。十五、六歳くらいから、この道に「自然に入って、自然に好きになった」と言う。その後上京し、新潟出身の漆芸家、高井白陽氏に師事し、本格的な研ぎ出し蒔絵や高蒔絵を習った。三年間の修業の後、昭和十四年に新潟に帰り、再び家業を継ぐ。このころは新潟漆器が盛んで、問屋だけで五十―六十軒もあった。今は数軒を数えるのみで、蒔絵師も二十人くらいがそれぞれ細々とやっているほど。輪島塗りなどの代表的産地とは対照的だ。

漆器づくりは①木地(きじ)②塗り③蒔絵―と分業化され、高橋さんは蒔絵のほか塗りもやる。ホウノキやカツラなど細工しやすく、くるいにくいものを木地に、座卓やお盆、文箱などを木地―下地―中塗り―上塗り、といった工程で漆を重ねて塗っていく。漆は完全乾燥するまで一昼夜はかかるから、「いい品物にするには半年―一年は必要」と言う。

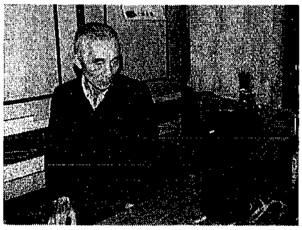
蒔絵の技法には研ぎ出し蒔絵、高蒔絵、平蒔絵、ネリ金蒔絵、錆(さび)蒔絵などがあるが、高橋さんは中塗り後に模様を描いて上塗りをし、その上塗りを特殊な炭で研いで模様を出す研ぎ出し蒔絵を得意とする。

漆器の制作も時代とともに変遷がある。戦争の足音の高かった昭和十四年ごろは勲章箱、終戦後は進駐軍の土産用小物、プラスチックの漆器―などが多かった。ちなみに、現在、高橋さんが制作する研ぎ出し蒔絵の漆器の値段は、花器が四―五万円、お盆二―三万円というところ。

「もう年だし、職人で勉強不足」と控えめに語るが、制作中の高橋さんの姿には、道を究めんとする力にみなぎっている様子がうかがえた。



制作中の高橋さん



仕事を終え、作品の出来栄えをたしかめる

にいがた国際映画祭　いよいよ開幕
14日から8日間連続上映

朝鮮映画「銀のかんざし」

日本海の向こう側の国々の映画を集めた「にいがた国際映画祭」が、いよいよ十四日から八日間連続で開催されます。

上映作品はいずれも名作・話題作ばかり。前売券はもうお求めでしょうか。この機会を、どうぞお見逃しなく。

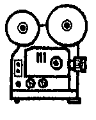
前売券　一日券…千円、三日券…二千円(当日券は一般千三百円、六十歳以上および中高生・大学生千百円、小学生五百円)

前売券発売所　大和、三越、伊勢丹、西堀ローサ、プラーカ、名店デパートなどのプレイガイド、新潟国際友好会館で発売中

問い合わせ　市国際交流協会(☎225―2777)、シネ・ウインド(☎243―5530)へ

会場	14日(木)	15日(金)	16日(土)	会場	17日(日)
音楽文化会館	6：30 オープニング・セレモニー シバジ　上映 ～8：40	12：00 光州は呼んでいる 北京物語 旅人は休まない モスクワは涙を信じない ～8：50	12：00 悪党 メッセンジャー・ボーイ アニメーション(7本) 鯨とり シバジ ～8：50	市公会堂	12：00 グレート・イーグル 大閲兵 銀のかんざし 芙蓉鎮 ～8：15

会場	15日(金)	16日(土)	17日(日)	18日(月)
シネ・ウインド	10：30 大閲兵 春香伝 メッセンジャー・ボーイ シバジ 銀のかんざし ～9：30	11：00 光州は呼んでいる 春香伝 モスクワは涙を信じない 芙蓉鎮 ～10：15	10：30 シバジ メッセンジャー・ボーイ 悪党 アニメーション(7本) 旅人は休まない 鯨とり　～9：20	10：00～ 北京物語 鯨とり グレート・イーグル 大閲兵 光州は呼んでいる 悪　党　～9：25
	19日(火)	**20日(水)**	**21日(木)**	
シネ・ウインド	10：00～ 銀のかんざし モスクワは涙を信じない グレート・イーグル アニメーション(7本) メッセンジャー・ボーイ 北京物語　～9：55	10：30 春香伝 悪　党 旅人は休まない グレート・イーグル 大閲兵 ～9：35	10：30 アニメーション(7本) 光州は呼んでいる 芙蓉鎮 シバジ モスクワは涙を信じない ～9：20	



少年少女スポーツクラブ　会員募集を市報に掲載

市内の少年少女を対象に活動しているスポーツクラブ・団体で、平成三年度募集要項を「市報にいがた」(三月二十四日号)に掲載希望の団体は、二月二十八日までに直接、市体育協会(市役所第二分館二階体育課内)、鳥屋野総合体育館、西総合スポーツセンターへ申し込み下さい。所定の用紙が用意してあります。

問い合わせ　市体育協会(☎226―3274)へ

広報テレビ　新潟発世界へ　～新潟を支える企業

放映日時　二月十七日午前八時十五分～八時半

テレビ局　BSN新潟放送

出演者　新潟鉄工所代表専務・笹原正義さん、日本軽金属新潟工場長・石山衛さん、三菱マテリアル新潟製作所長・柳山弘さん、長谷川義明新潟市長

オペラを学びませんか？　公開講座を開講

音楽文化会館では、オリジナルな日本のオペラの公演で全国的に好評を得ているオペラシアターこんにゃく座を招き、市民対象のオペラ公開講座を開催します。

オペラに興味をお持ちの人、勉強中の人、どうぞ参加下さい。

日時　二月二十二日午後七時～九時

会場　音楽文化会館ホール

内容　オペラのできるまで

演目　こんにゃく座によるオペラ「あまんじゃくとうりこ姫」

申し込み　会場(☎224―5811)へ

新潟スポーツ医学研究会
筋力トレーニングについて
日時　2月16日午後2時～
会場　新大医学部第四講義室(旭町通1)
講師　新大教育学部教授・杉本英夫さん
※午後1時30分から医事相談実施
問い合わせ　古賀さん(新大医学部内、☎223―6161内線2574番)へ

江南地区親善交歓バドミントン
日時　3月10日午前9時～
会場　鳥屋野総合体育館
対象　上所・女池・上山・鳥屋野・曽野木・東曽野木・酒屋・割野の各小学校区に在住の社会人
種目　男子・女子・混合ダブルスのA・B・Cクラス　**参加費**　1人300円
申し込み　2月25日までに鳥屋野地区公民館(☎285―2371)へ

あなたの老後が見えますか
中地区婦人の集い
日時　2月22日午後1時～4時
会場　中地区公民館
内容　体験発表、講演、話し合い、ほか
申し込み　2月16日までに会場(☎271―0017)へ

おはなしを楽しむ会
日時　2月15日午前10時半～11時半
会場　坂井輪地区公民館
内容　絵本の読みきかせなど大人向け
問い合わせ　坂井輪図書館(☎260-3242)へ

石山地区囲碁大会
日時　2月23日午前10時～
会場　石山地区公民館
参加費　1,000円(昼食付き)
申し込み　2月14日までに長谷川さん(☎286―1617)へ

北地区婦人の集い
日時　2月23日午後1時～4時
会場　北地区公民館
内容　講演「これからの家庭における人間関係」、映画
申し込み　2月19日までに会場(☎259―7330)へ

映画　安心して老いるために
日時　3月2日①午後1時半②午後6時
会場　市公会堂　**チケット**　前売1,200円
問い合わせ　21世紀のシルバープランを創る会(東中通1☎223―4680)へ

社会保険センター
受講生作品展
期日　2月16・17日
会場　市美術館、社会保険センター
内容　書道、水墨画、油絵など約300点の展示、茶会席、健康相談、など

思春期の子どもとのつきあい方
～子どもの心見えますか～
日時　2月21・28日、3月7日午後6時半～8時半　**会場**　中央公民館
内容　子どもの不安と親の不安、進路を考えることと学力をのばすこと、ほか
申し込み　電話で会場(☎223―7070)へ

ひなまつり親子料理講習会
日時　2月24日午前10時～午後1時
会場　大江山農村環境改善センター
内容　ちらしずし、さくらもち、ほか
対象　親子15組　**参加費**　1組900円
申し込み　大江山公民館(☎286―5631)へ

洋らん展示即売会
期日　2月14日～18日
会場　大和新潟店
問い合わせ　新潟愛蘭会(☎223―3765)へ